

TOPICS

応用バイオ科学科

FACULTY OF APPLIED BIOSCIENCE APPLIED BIOSCIENCE

新バイオファミリーを迎えて「B科恒例の縦コン2010」開催

2010年4月、応用バイオ科学科は146名の新入生を迎え元気にスタートをきりました。第5期生の誕生です。彼らの入学を祝い、恒例行事となった「歓迎会」を第1食堂で開催しました。学部2年生から大学院生までも加わり、総勢200名を超える大歓迎会となりました。文字通り、縦割りコンパです。先輩から新入生へ「実験は絶対にサボルなよ!」「レポートで分からない所は、俺に聞きに来い!」など、頼もしいアドバイスがあり、有意義なイベントとなりました。



時間が経つにつれ新入生も次第に打ち解けてきました



縦コン開始直後(新入生の表情は、まだ固いです)

フレッシューズキャンプ2010

新バイオファミリー(新入生)同士の親睦・交流を深めるために、4月10日、11日の2日間、白子温泉(千葉県)に宿泊して様々なイベントを行いました。一日目は授業内容紹介とクラス毎にわかれて自己紹介・他己紹介、二日目はパークゴルフ大会を栄養生命科学科と合同で行いました。新入生たちが楽しみながら各イベントに取り組み、交流を深めている様子が印象的でした。この2日間でファミリーの結束力がグッと高まったことは間違いありません。



仲良く夕食をとっています



パークゴルフを楽しんでいます



パークゴルフ大会を終えて

米国シアトルでの海外バイオ研修2010

ワシントン州立サウスシアトルコミュニティカレッジ(SSCC)で行われた「海外バイオ研修I」に、今年も7名の学生(2年生の伊藤祐弥さん、青柳歩未さん、近藤舞衣子さん、大島佑貴さん、小林紫乃さん、田村太志さん、安田祐樹さん)が参加しました。2月中旬からの1ヶ月間、ホームステイで生活しながら、語学研修(3週間)+バイオ実習(1週間)、という英語漬けの毎日を送りました。修了式では、学生だけでなくSSCCの先生方も涙を流す様子が印象的で、異国の地で心の通ったコミュニケーションができていたことが伝わってきました。

8月には、SSCCのマーク先生による「バイオ特別実験」が本学で開講されます(もちろん講義は英語です)。参加して、海外バイオ研修の雰囲気を感じてみませんか。



Dynagene社の企業見学を終えて

バイオファミリー1期生巣立つ

バイオファミリー1期生の卒業式・学位記授与式が3月20日に行われました。授与式では、指導教員からコニクで重みのあるコメントを添えて、一人ずつ学位記が手渡されました。その後場所を移して、B科の卒業パーティーが行われ、涙あり笑いあいの最後の全体会を楽しみました。卒業生のテップチャック・アヌサーさん(タイからの留学生)は4年間を振り返り、次のようなコメントを残しています。「B科は、楽しみながら知識を蓄えることができる学科だと思います。また勉強だけでなく、友人との関わりも含めて、経験したことすべてが自分自身の成長につながりました。タイに帰国しても、一期生としての誇りを胸に羽ばたいていこうと思います。」1期生の皆さん、困難に遭遇したときも、B科で過ごした4年間を思い出し、元気に頑張ってください。



B科の卒業パーティーを終えて



卒研発表後、アヌサーさん(左から2人目)の日本語学校の先生(右から2人目)と一緒に

国際学会でポスター賞受賞

4月25日～30日にタイで開催された国際学会(International Conference on Flow Injection Analysis)で、大学院生の生月俊也さん、長嶋久美子さん、卒業生のテップチャック・アヌサーさんの3名がポスター発表を行い、生月さんが「植物細胞の保存に関する研究」で、見事ポスター賞を獲りました。21カ国から200人以上の参加があり、ポスター賞受賞は、ポスター発表145件のうち6件でした。「卒業研究で1年間努力した結果、このような賞をいただけたということはとても光栄に思っています。今回の経験を糧に、今後の研究に取り組んでいきたいです。」と生月さんは抱負を述べました。



ポスター賞を受賞した生月さん(右)

地域交流 幼稚園児のワクワクドキドキ大学探検

3月4日、七沢幼稚園の園児(年長さん)26名のために、B科の学生12名(柳館奨さん、大野正昭さん、島内孟紀さん、菅原瑞穂さん、川村瑠美さん、岩岡史さん、猪又真麻さん、田澤希望さん、久保田光さん、連綾香さん、芝岡佑夏さん、白石有希さん)が、パズルピースを集めながらの学内探検を企画しました。子どもたちは、様々な施設をまわり、ゴールの第一食堂でパズルを完成させ、手作りのメダルを受け取って喜んでいました。子どもたちにとっても、学生たちにとっても貴重で楽しい体験となりました。



メダルをかけて記念撮影

新任教員あいさつ 教授 局 俊明

はじめまして。4月に応用バイオ科学科に赴任しました。3月までは、民間のエンジニアリング会社の研究所で、下水処理装置などの環境関連研究開発を担当していました。

着任して、初めに感じたことは、「若さにあふれたエネルギーあふれる大学」ということです。学生の皆さんは、希望と新しい知識を吸収しようという意欲にあふれ、無限の可能性を感じさせてくれました。また、教員の方々も、大学独自の手作りのカリキュラムに則った熱意にあふれた指導をされていることに感銘しました。この指導にしっかりとついていけば、将来、実社会で十分に通用する実力がつくことを確信しました。私も、先輩の先生方へ負けぬよう、教育と研究の両立に向けて、頑張っていこうという気持を新たにしているところです。

【担当科目】
バイオ工学基礎、バイオ基礎実験、バイオ入門、バイオ英語I・II、コンピュータープログラミングI、環境保全学、バイオ実験I、機器分析実験I

【専門分野】
生物反応工学、環境工学

